

3 月定例会

◆日時：2010年3月15日(土) 14:00~17:00

◆内容：5年生心の成長（恋する心と自立心のめばえ）について 提案 協議
長崎県感染症対策エイズ・性感染症専門部会報告
飛び入り参加「音楽とコラボした性教育」

2010年3月6日



5年生の体重測定時実施(30分程度)
事前に心の変化などのアンケートをとっておく。

測定中の待つ間に、心の揺れ動く様を書いた、「詩」などの短い文学作品を読ませる。
(児童が交代で音読する事もある)

とても、いい詩がありました。早速使いたいと思いました。Nさんは「校内掲示に使おう」と嬉しそうでした。来た甲斐がありましたね。

アンケート結果から心の変化に気づく。

また、学級の半数以上が好きな人がいると

答えていることから、恋する心が芽生えている事に気づく。

恋する心が芽生え、いわゆる男らしさ女らしさに悩む子も出てくる。そこで、文学作品を通して考えさせ、大人へと成長していく事に、夢や希望を持たせたい。



小学生でも一言「同性に恋する人もいるよ」と語る事が大切。

小学生に語る必要性について、安日さんから、同姓を好きだと感じたのはいつかと当事者に尋ねたことがある。それは、異性愛者の大多数が「〇〇ちゃん好き」と思う頃と同じで、小学生やそれ

より下の年齢くらいだという。

「同姓が好きな人がいるよ」という教師の一言で救われる。

高校生に語った経験のある中村まり子さんも高校生の感想を紹介してくれた。

「100万回生きた猫」を教材に使った。とか、アンジェラ・アキの「拝啓15才のきみへ」もいいね。とか、いい資料を持ち寄るのはどうかということになり、次回のテーマが決まりました。

長崎県感染症対策エイズ・性感染症専門部会報告：

長崎は、全国で唯一「少年保護育成条例」9条に、(自動販売機等による自主規制)で避妊用品

を少年に販売し、又は贈与しないように努めるものとする。という条文を削除できないでいる。性体験の低年齢化、性感染症の拡大予防に必要なのに。医療現場で産婦人科医でもある安日さんも、助産師さんの中村まり子さんも「この切実な状況が分かっていない」と憤慨している保健所での HIV 抗体検査が受けにくい状況にあるという部会で意見が出された。私たち性教協会員も実際に受けてみて、専門部会に提言ができたらいいなと思います。

そして、今日のテーマにぴったりの飛び入り参加。

性教育の指導にあわせて、音楽をつけてもらい指導した。というビデオの視聴をさせてもらいました。